

新潟大学佐渡自然共生科学センター

2020（令和2）年度年次報告書

目次

1 佐渡自然共生科学センターについて	1
2 活動概要.....	1
2-1 各領域の活動概要	1
2-2 領域が連携して取り組む教育・研究活動のハイライト	3
3 研究業績.....	5
3-1 研究論文・著書等	5
3-2 研究費	13
4 教育活動.....	15
4-1 学内の教育	15
4-2 佐渡 3 施設で実施した他大学の教育	16
4-3 3 施設で実施したその他の教育.....	16
4-4 施設利用状況	16
5 地域連携と社会活動.....	17
5-1 佐渡市との連携による事業	17
5-2 新潟県との連携による事業	17
5-3 その他の地域連携・社会活動	17
5-4 シンポジウム・セミナー等の開催	19
6 資料.....	20
6-1 報道関係	20
6-2 構成員	20

1 佐渡自然共生科学センターについて

新潟大学佐渡自然共生科学センターは、2019年4月に佐渡島の森里海の自然を科学するために、演習林、朱鷺・自然再生学研究施設、臨海実験所の3つの施設からなる総合的な教育・研究センターとして発足した。新センターは森林・里山・海洋領域、及びコミュニティデザイン室からなり、佐渡島の豊かな自然環境を生かした教育・研究・地域連携・国際交流を行うのみならず、河川で繋がる森里海の自然や、社会・歴史などとの複合領域の研究を追求する。

2 活動概要

2-1 各領域の活動概要

森林領域／演習林

森林領域は、大佐渡北部稜線上に大学が所有する約500haの天然林・人工林を中心として、島内・島外の森林において植生学・森林生態学・種生態学・動植物相互作用学などの研究を展開すると共に、農学部・理学部の実習を担当し、教育関係共同利用拠点として他大学の実習も多数実施している。

4月中旬には本学に所属する内部委員及び外部有識者で構成される共同利用運営委員会の会議を演習林施設で実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言が発令されたため、書面審議の形式に変更して開催した。

5月～10月（無雪期間）に、公募型・受託型を主とした他大学共同利用実習、農学部及び自然科学研究科の学内実習、他学部による学内共同利用実習を予定していたが、他大学共同利用実習11件、学内実習4件、学内共同利用実習1件が中止となった。その結果、令和2年度は他大学共同利用実習3件、学内実習8件、学内共同利用実習件の実施に留まった。他大学の共同利用実習は3件すべてが新規の実習であった。そのうち1件は国内留学生及び海外の学生を対象とした国際的な実習であり、実施大学含む5ヶ国6機関の延べ人数39人が参加した（オンライン参加含む）。

感染症対策として、大学全体のガイドラインに加え、演習林独自のガイドラインを策定して、8月以降の対面型学内実習に対応した。さらに来島2週間前からの移動自粛のお願いなどを徹底し、10月以降は学外からの利用も再開した。対面型実習の代替措置として動画コンテンツ10件を作成し、YouTubeで限定公開している。また、感染症拡大に伴い佐渡に来島できない島外の利用者に向けて、年3回のニュースレターの発行に加えてブログ記事の更新回数を大幅に増加させた（2020年4月～2021年3月に110回）。佐渡ゼミ（一般公開型セミナー）は例年同様に年5回の実施を計画していたが、3月に予定していた2回が中止となったため3回の実施となった。佐渡ゼミの一部は「漂着イノシシ掘り起しワークショップ」として島内在住者を対象とした少人数限定の対面形式で実施した。また、「演習林を中心とする佐渡での野外活動が参加学生に及ぼす心理的効果」のアンケート調査の結果をまとめ、学内の環境・社会報告書に記事として報告した。

里山領域／朱鷺・自然再生学研究施設

里山領域では、新穂潟上にある朱鷺・自然再生学研究施設を拠点として、佐渡のシンボルであるトキの再導入生物学の確立や地域の生物多様性の実態の解明、生態系の復元手法の開発、自然共生に向けた社会システムの構築などにかかわる研究を進めている。自然科学と人文・社会科学の融合を図り、学際的環境科学を推進するとともに、地域住民や行政機関との連携による調査や教育活動にも取り組んでいる。

昨年度より環境省「環境研究総合推進費」による研究プロジェクト「森・里・川・海連関の評価手法構築に向けた小型通し回遊魚の生態解明」を開始した。今年度を実施した調査からは、加入時の体サイズが異なるなど、地域ごとに回遊パターンが異なる可能性が示唆された。また、加入個体の河川における定着率には海洋生活期間中の成長率が影響を及ぼしている可能性が示唆された。

また、昨年度より開始した文部科学省「科学技術イノベーションによる地域社会課題解決（DESIGN-i）」助成事業による「生物多様性と農業技術革新が共存するエコロジカル・コミュニティの実装に向けて：里山創生「佐渡モデル」の構築」（佐渡市共同事業）では、地域の農業者と技術者が協働で里山農業の課題解決と価値創造の可能性の探索を進めてきた。課題解決の一つのアプローチとして、生態学的研究にもとづく IBM（総合的生物多様性管理）を推進し、省力型エコロジカル農法や生態系ネットワークを可視化する ICT ツールの開発に取り組んだ。

海洋領域／臨海実験所

臨海実験所は、フィールドワークを通して海洋生物の多様性とその成り立ちについての実践的高等教育を行うというミッションを基に、佐渡島に残されている豊かな自然環境と生物相を利用して、海洋生物の多様性と適応生理生態学に関する高度な教育・研究を行っている。生物の多様性と普遍性の理解は、生物学の教育研究の基礎となるものであり、2020（令和 2）年度は、新潟大学の理学部理学科（2 年生）、同生物学・地質科学・自然環境科学の各プログラム（3, 4 年生）、理学部・農学部のフィールド科学人材育成プログラム（3 年生）の学生、および、大学院自然科学研究科の学生を対象にした臨海実習や講義を通して、理学部・農学部と自然科学研究科における基礎生物学およびフィールド科学教育に貢献した。

2020（令和 2）年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、学内の実習、共同利用活動に大きな影響があった。学内については、新型コロナウイルス感染症への対策ガイドラインを策定した上で、人数を制限して実習を実施した。例年述べ約 1,600 名が利用するところ、予定していた 11 件のフィールド利用型実習、国際臨海実習を含む 4 件の公開臨海実習が中止となったため、延べ利用者は 381 名にとどまった。このことを受け、オンライン実習教材を作成し、うち、実習内容の紹介 2 編と海洋生物の紹介 42 編を完成させた。今後教材の充実をはかる予定である。

地域・社会連携については、佐渡市の市民向けイベントへの参加、一般市民および学内・学外向けの公開シンポジウム「新潟大学佐渡自然共生科学センターシンポジウム 2021 環境変動と生物集団」などを実施した。研究活動としては、原著論文 15 報、国内学会等での発表 9 件の研究

発表を行った。

本実験所は、国際海洋生物学共同利用拠点としての展開を目指し、9月から研究棟と宿泊棟の改修を行っており、2021（令和3）年5月末に完了予定となっている。また、2022（令和4）年度に実習船の更新を予定している。

コミュニティデザイン室

佐渡島を舞台に、新潟大学ならびに外部の研究者や企業との連携を図りながら、自然共生という価値の追求と持続可能な地域の発展につながる実装型プロジェクトを推進するため、2019年度開設された。

里山領域と共同で DESIGN-i 事業を推進し、里山保全の課題に取り組むための地域組織の立ち上げを進めたほか、中高生とともに里山農業の未来を考えるオンラインワークショップなどを開催した。

朱鷺の島地域再生人材創出事業では、佐渡市との連携講座である「市民大学講座」（1回、参加者38名）、佐渡市理科教育センターとの連携講座である「学校教職員対象研修」（1回、参加者9名）、市民との共同企画による「里山体験ガイドフォローアップ研修」（全3回、参加者延べ15名）を実施した。

2-2 領域が連携して取り組む教育・研究活動のハイライト

森里海の研究

1) 環境研究推進費プロジェクト

佐渡自然共生科学センター発足に向けて、2016年度から現センター3領域の若手教員により佐渡島の河川を中心とした生態系間の相互作用について共同研究を実施してきた。その内容を発展させて、2019年より、環境研究総合推進費「森・里・川・海連関の評価手法構築に向けた小型通し回遊魚の生態解明」として、佐渡島の小規模な河川群を主な対象として、小型の通し回遊性魚類の海から河川への加入や河川での資源利用に着目して、森里川海の連関の解明に向けた研究を展開している。2020年度も佐渡の30河川を対象として、通し回遊魚の河川への加入、定着過程を調査した。引き続き、調査研究を実施して、佐渡島の特異な生態系をモデルとする森里川海連関を明らかにしていく。（代表者：満尾世志人、分担者：飯田碧）

2) 佐渡市・新潟大学 DESIGN-i プロジェクト

効率化・大規模化が困難な「里山農業」の持続的発展を目指して、農家と技術者が連携して課題解決を試みるニーズプル型の研究開発を昨年度から開始した。課題やビジョンを明らかにするための「里山未来会議」と、課題解決の可能性を技術的観点から考える「ソリューション探索会議」を交互に開き、里山農業を支える技術開発を検討している。コミュニティデザイン室と里

山領域の教員で進めているプロジェクトである。2020 度が最終年度であったため、プロジェクトの主旨と成果を広く共有するための「里山農業の未来デザインシンポジウム」を開催し（会場＋オンラインのハイブリッド）、中高生を含む多くの参加者とともに小さな農業の未来について考えた。（代表者：豊田光世）

3) 森林体験がもたらす心理的効果に関するアンケート調査

佐渡演習林で実施される大学生を対象とした複数の実習において、野外での自然体験を伴う活動が学生に及ぼす心理的な効果を客観的な指標を用いて評価することで、その「教育的効果」を明らかにすることを目的としたアンケートを 2019 年 5 月から 7 月に実施した。アンケートは新潟大学佐渡自然共生科学センターの演習林を利用した実習 4 件 9 回（うち 1 件は異なる集団に対して同一内容の実習を 6 回実施）を対象として行ったものである。その集計結果について、2020 年度に統計解析を行い、森林の特徴を臭覚や聴覚で捉える力が高まること、専門教育を受ける前の大学生の方が森林への関心や知識の向上に効果的であることなどが明らかとなった。今後は、設問内容や調査方法を改善し、より多くの実習を対象として教育効果の測定や統計的分析を行うことで、教育効果の見える化とその結果に基づくフィードバック体制を構築する。（アンケート実施者：松倉君予，阿部晴恵，豊田光世）

4) 佐渡自然共生科学センターシンポジウム 2021 の開催

2021 年 3 月に「新潟大学佐渡自然共生科学センターシンポジウム 2021 環境変動と生物集団—長期モニタリング研究から見えてくるもの」を開催した。基調講演としてセンター長・崎尾均による富士山での森林の長期観測に基づく研究成果、森林・里山・海洋の各領域から様々な生物集団の環境変動への応答に関する研究内容を報告した。新型コロナウイルス感染症の流行を受けて、対策を行った上であいぽーと佐渡での佐渡市民向けの対面形式と、学内・学外向けのオンライン形式とを併用した。センターとして初の試みであったが 130 名以上と多数の参加者があった。

3 研究業績

3-1 研究論文・著書等

論文（英文・和文の順，筆頭著者アルファベット順）

	著者名	タイトル	雑誌名・巻(号)	ページ	年
1	<u>H. Abe</u>	Speciation of the sect. <i>Camellia</i> based on Pollinator shift	International camellia journal 52	85–87	2020
2	<u>H. Abe</u> , H. Miura, Y. Motonaga	Quantitative classification of <i>Camellia japonica</i> and <i>Camellia rusticana</i> (Theaceae) based on leaf and flower morphology	Plantdiversity https://doi.org/10.1016/j.pld.2020.12.009		2020
3	F. Akhter, Md. M. Islam, <u>M. Iida</u> , <u>Md.</u> <u>M. Zahangir</u>	Reproductive seasonality and the gonadal maturation of silver pomfret <i>Pampus</i> <i>argenteus</i> in the Bay of Bengal, Bangladesh	Journal of the Marine Biological Association of the United Kingdom 100	1155– 1161	2020
4	M. Hirano, <u>K.</u> <u>Toyota</u> , H. Ishibashi, N. Tominaga, T. Sato, N. Tatarazako, T. Iguchi	Molecular insights into structural and ligand binding features of Methoprene- tolerant in daphnids	Chemical Research in Toxicology 33	2785– 2792	2020
5	<u>M. Iida</u> , K. Kido, K. Shirai	Migratory pattern and larval duration of an amphidromous goby, <i>Rhinogobius nagoyae</i> , at Sado Island, in northern Japan	Marine and Freshwater Research 72	1243– 1249	2021
6	M. K. Kimura, T. Nagashima, T. Kamitani, <u>H. Sakio</u> , Y. Tsumura	Recent clonal reproduction of <i>Cryptomeria japonica</i> in a snowy region revealed by a survey of small-sized ramets	Silvae Genetica 69	152–157	2020
7	<u>K. Kishimoto</u> - <u>Yamada</u> , Y. Minamiya	Earthworm species and density in semi-natural grasslands on rice paddy levees in Japanese <i>satoiyama</i>	Biodiversity Data Journal 8	e56531	2020
8	T. Kitahashi, D. Kurokawa, S. Ogiso, N. Suzuki, <u>H. Ando</u>	Light-dependent diurnal and circadian expression of non- visual opsin genes opn4xa and opn4xb in the eyes of juvenile grass puffer <i>Takifugu alboplumbeus</i>	Fish Physiology and Biochemistry		In press
9	Y. Li, <u>A. Omori</u> , et al., N. Irie	Genomic tests of body plan transitions from bilateral to pentameric symmetry in echinoderms	Communications Biology 3	371	2020

10	K. Miyaoku, Y. Ogino, A. Lange, A. Ono, T. Kobayashi, M. Ihara, H. Tanaka, <u>K. Toyota</u> , et al., S. Miyagawa	Characterization of G protein-coupled estrogen receptors in Japanese medaka, <i>Oryzias latipes</i>	Journal of Applied Toxicology		In press
11	<u>A. Omori</u> , T. F. Shibata, K. Akasaka	Gene expression analysis of three homeobox genes throughout early and late development of a feather star <i>Anneissia japonica</i>	Development Genes & Evolution	305–314	2020
12	<u>H. Sakio</u> , T. Masuzawa	Advancing Timberline on Mt. Fuji between 1978 and 2018	Plants 9 (11)	1537	2020
13	M. Sato, H. Kobayashi, <u>M. Iida</u> , K. Shirai, K. Sasaki	A record of <i>Tetraroge nigra</i> (Tetrarogidae) from Iriomote Island, southern Japan, with notes on its ecological aspects	Ichthyological Research 68	207–213	2021
14	K. Seiwa, Y. Negishi, Y. Eto, M. Hishita, K. Masaka, Y. Fukasawa, <u>K. Matsukura</u> , M. Susuki	Successful seedling establishment of arbuscular mycorrhizal- compared to ectomycorrhizal-associated hardwoods in arbuscular cedar plantations	Forest Ecology and Management	118–155	2020
15	Y.-G. Song, Y. Li, H.-H. Meng, Y. Fragnière, B.-J. Ge, <u>H. Sakio</u> , H. Yousefzadeh, S. Bétrisey, G. Kozłowski	Phylogeny, Taxonomy, and Biogeography of <i>Pterocarya</i> (Juglandaceae)	Plants 9 (11)	1524	2020
16	<u>K. Toyota</u> , S. Masuda, S. Sugita, K. Miyaoku, G. Yamagishi, H. Akashi, S. Miyagawa	Estrogen receptor 1 (ESR1) agonist induces ovarian differentiation and aberrant Müllerian duct development in Chinese soft-shelled turtle, <i>Pelodiscus sinensis</i>	Zoological Studies 59	54	2020
17	<u>K. Toyota</u> , F. Yamane, T. Ohira	Impacts of methyl farnesoate and 20-hydroxyecdysone on larval mortality and metamorphosis in the kuruma prawn <i>Marsupenaeus japonicus</i>	Frontiers in Endocrinology 11	475	2020
18	<u>K. Toyota</u> , Y. Arai, S. Miyagawa, Y. Kogo, K. Takeuchi	Novel validating indices to indicate sexual differences in the horsehair crab <i>Erimacrus isenbeckii</i> (Brandt, 1848)	Aquatic Animals	AA2021–6	2021
19	<u>K. Toyota</u> , H. Miyakawa, C. Hiruta, T. Sato, H. Katayama, T. Ohira, T. Iguchi	Sex determination and differentiation in decapod and cladoceran crustaceans: an overview of endocrine regulation	Genes 12	305	2021

20	<u>K. Toyota</u> , S. Minatoya, T. Ohira	Photoperiod-dependent reproductive plasticity of the brine shrimp <i>Artemia franciscana</i>	Aquatic Animals	AA2020-3	2021
21	<u>K. Toyota</u> , T. Sato, T. Iguchi, T. Ohira	Methyl farnesoate regulatory mechanisms underlying photoperiod-dependent sex determination in the freshwater crustacean <i>Daphnia magna</i>	Journal of Applied Toxicology 41	216-223	2021
22	<u>D. Watabiki</u> , S. Yoshimatsu	Morphological study on the immature stages of the Banana fruit caterpillar, <i>Tiracola plagiata</i> (Walker, 1857) and its close relative, <i>Tiracola aureata</i> Holloway, 1989 (Noctuidae: Noctuinae: Leucaniini) with their host plant information	Journal of Asia-Pacific Entomology	477-485	2020
23	W. Yoichi, M. Takahashi, A.J. Nagano, K. Uehara, <u>H. Abe</u>	Evolutionary effects of geographic and climatic isolation between <i>Rhododendron tsusiophyllum</i> populations on the Izu Islands and mainland Honshu of Japan	Heredity https://doi.org/10.1038/s41437-021-00417-w		2021
24	S. Yoshimatsu, <u>D. Watabiki</u> , T. Osawa	Specimen-based records of geometrid, pyralid, and crambid moths (Lepidoptera) with location information from the collection of Dr. Hiroshi Inoue	Ecological Research 35 (6)	1051-1056	2020
25	<u>M. Zahangir</u> , H. Matsubara, S. Ogiso, N. Suzuki, H. Ueda, <u>H. Ando</u>	Expression dynamics of the genes for the hypothalamo-pituitary-gonadal axis in tiger puffer (<i>Takifugu rubripes</i>) at different reproductive stages	General and Comparative Endocrinology 301	113660	2020
26	<u>古郡憲洋</u> , <u>岸本圭子</u> , <u>本間航介</u>	里山景観における森林と水田畦畔との接続性の違いが土壌動物群集に与える影響	農業農村工学会論文集 88 (1)	I_165-I_177	2020
27	角田裕志, <u>満尾世志人</u>	2012 年 8 月の兵庫県東播磨・北播磨地域のため池 50 箇所における水生生物の採捕結果	野生生物と社会 8	59-64	2020
28	<u>岸本圭子</u> , <u>満尾世志人</u>	佐渡島固有種サダガエルの保全に向けて	爬虫両棲類学会報 2020 (2)	178-185	2020
29	<u>崎尾 均</u>	富士山の森林は登り続ける！40 年間の森林動態調査から	山 910	1-3	2021

30	鳥越けい子, 井上真理子, 工藤由貴子, 河野哲也, 豊田光世, 横山隆一, 関 礼子	環境を捉える学と学の対話から	学術の動向 25 (11)	54-61	2020
31	豊田光世	対話的協働探究のプロセスデザイン	学術の動向 25 (11)	32-37	2020
32	豊田光世, 高島徹, 北 愛子, 中川克典	農地のガバナンスをめぐる合意形成のプロセスデザインの考察: 中山間地域における「人・農地プラン」の展開を手がかりに	実践政策学 6 (2)	255-266	2020
33	綿引大祐・田中絵里・吉松慎一	オキナワマツカレハの宮古諸島からの正確な記録とその由来に関する考察	蛾類通信 295	516-518	2020
34	綿引大祐・田中絵里・吉松慎一	ツガカレハ・マツカレハ・オキナワマツカレハの正確な日本国内記録	蛾類通信 296	541-545	2020
35	綿引大祐	建造物とその周辺樹木上のマイマイガ卵塊におけるヒメマルカツオブシムシによる捕食率の違い	森林防疫 70 (3)	11-18	2021
36	綿引大祐・田中絵里・吉松慎一	コウンモンクチバの学名と日本産 <i>Blasticorhinus</i> 属2種の DNA バーコード情報	蛾類通信 297	590-593	2021

書籍（英文・和文の順, 筆頭著者アルファベット順）

	著者名	タイトル	書籍名（編者）	ページ	出版社	年
1	K. Homma et al.	Kanto-Koshinetsu Region	The Soils of Japan (eds. R. Hatano, H. Shinjo, Y. Takata)	245-271	Springer	2021
2	H. Sakio et al.		Long-Term Ecosystem Changes in Riparian Forests (ed. H. Sakio)	234pp	Springer	2020
3	M. Toyoda	Ecología y medio ambiente: ética de la tierra	In Japón, el archipiélago de la cultura 3 (ed. O. Colectiva)	288-298	Mediastres Estudio	2020
4	豊田光世		p4c の授業デザイン: 共に考える探究と対話の時間の作り方	173pp	明治図書	2020
5	豊田光世	子どものための哲学という教育的・哲学的ムーブメント, 「立ち入るべきではない領域」: 探究の共同体のなかの差別と当惑, 子どものための哲学が拓く「対話的学び」の境界を超えた探究	子どものための哲学教育ハンドブック: 世界で広がる探究学習 (小玉重夫監修, 豊田光世・田中伸・田端健人訳者代表)	1-19, 37-53, 337-342	東京大学出版会	2020

報告書等

	著者名	タイトル	報告書名	ページ	年
1	<u>阿部晴恵</u>	佐渡島漂着イノシシ掘り起こしワークショップ	全国演習林協議会 2019 年度年報第 35 号	印刷中	2021
2	<u>松倉君予</u>	佐渡演習林における実習を通じた教育活動とその心理的効果	新潟大学環境・社会報告書 2020 地域共生型の環境調和	4-6	2020
3	<u>永田尚志</u> (編)	佐渡島の希少な動植物	普及版佐渡市レッドデータブック	130pp	2021
4	<u>豊田光世</u>	水辺の未来を考える人の輪を広げていく	水産多面的機能発揮対策における「教育・学習」活動, 全国漁業協同組合連合会・全国内水面漁業協同組合連合会	107-108	2020
5	<u>豊田光世</u>	藻場の保全	多様な主体との連携を推進するための提言, 全国漁業協同組合連合会・全国内水面漁業協同組合連合会	6-12, 51	2020
6	<u>豊田光世</u> , 高田知紀, 新井信幸	法定外公共物である加茂湖の環境保全, 小規模農地のガバナンス, 所有からシェアの時代へ: 新たな共の創造	環境の統合的ガバナンス: 境界を越える共の創造, JSPS 科研費 17K00682 報告書	8-12, 17-20, 33-38	2021
7	<u>豊田光世</u> (編)		佐渡 p4c おけさ 2020 報告書	55pp	2021

国内学会・会議等での発表（発表年月順）

	発表者名	タイトル	学会名	会場	年月
1	<u>豊田光世</u> (招待講演)	地域対話のプロセスデザイン: 里山の未来を創生する現場から	第 2 回日本哲学プラクティス学会	オンライン	2020/09
2	<u>豊田光世</u>	コロナ禍における対話的学びの追求	第 22 回日本感性工学会大会	オンライン	2020/09
3	村松万里, 小林哲也, 内田勝久, <u>安東宏徳</u> , 持田弘, 岡田令子, 鈴木雅一	スタウナギにおける 2 種類の下垂体糖タンパク質ホルモン受容体をコードする候補遺伝子の同定	日本動物学会第 91 回大会	オンライン	2020/09
4	<u>Md. M. Zahangir</u> , W. Palkowska, 丸山雄介, 服部淳彦, <u>安東宏徳</u>	Dim light at night stimulates melatonin production and may influence the expression of the GnRH, GnIH, and kisspeptin genes in the grass puffer	日本動物学会第 91 回大会	オンライン	2020/09
5	中島崇志, <u>大森紹仁</u>	サドナデシコナマコの分布と生殖生態	日本動物学会第 91 回大会	オンライン	2020/09
6	<u>阿部晴恵</u> , 蓑和冴文, 三浦弘毅	ヤブツバキとユキツバキの交雑帯における形質と遺伝的構造の比較	日本進化学会第 22 回大会	オンライン	2020/09

7	小林大純, 巖 美月, D. F. Mokodongan, 安田仁奈, 白井厚太朗, 飯田 碧, 山平寿智	スラウェシ島におけるヒナハゼ属魚類 “ <i>Redigobius penango</i> ” の非回遊性と系統分類	2020 年度日本魚類学会年会	ウェブ大会	2020/10
8	豊田賢治	甲殻類の比較生物学	金沢大学 環日本海域環境研究センター 臨海実験施設 公開セミナー	金沢大学 環日本海域環境研究センター臨海実験施設	2020/10
9	豊田賢治	ミジンコの環境依存型性決定の分子メカニズム	進化生態こまば教室	オンライン	2020/10
10	豊田光世, 高島徹, 北 愛子, 中川克典	農地 GI 機能強化に取り組むコミュニティデザインのプロセスマネジメント	グリーンインフラ・ネットワーク・ジャパン全国大会	オンライン	2020/11
11	石井森昭, 蟹澤翔太, 山田宜永, 杉山稔恵, 谷口幸雄, 横井伯英, 金子良則, 祝前博明	トキ国内飼育下・放鳥個体群における群成長, 平均近交度および有効集団サイズの経時的変化の評価	日本動物遺伝育種学会第 21 回大会	神戸・オンライン	2020/11
12	蟹澤翔太, 山田宜永, 谷口幸雄, 横井伯英, 勝田智博, 祝前博明	黒毛和種直検牛の発育形質に関する血統情報および SNP 型情報を用いた遺伝分散の推定	日本動物遺伝育種学会第 21 回大会	神戸・オンライン	2020/11
13	谷口幸雄, 横井伯英, 山田宜永, 金子良則, 祝前博明	中国より新たに導入されたトキ 2 個体の MHC クラス II ハプロタイプの解析	日本動物遺伝育種学会第 21 回大会	神戸・オンライン	2020/11
14	満尾世志人, 飯田碧	ウキゴリ属魚類における河川定着過程	応用生態工学会	オンライン	2020/12
15	加藤 駿, 佐藤 青, 満尾世志人	アユの河川遡上範囲とその関連要因について	応用生態工学会	オンライン	2020/12
16	佐藤 青, 加藤 駿, 満尾世志人	ウキゴリ属における河川加入後の分布様式	応用生態工学会	オンライン	2020/12
17	豊田賢治	Comparative Biology of Crustaceans	九州大学国際農業教育研究推進センター 公開セミナー	オンライン	2020/12
18	豊田賢治	沿岸性甲殻類の幼生変態における昆虫成長制御剤の毒性影響評価	2020 年度共同利用成果報告会 (金沢大学環日本海域環境研究センター)	オンライン	2021/03
19	阿部晴恵, 向野峻平	佐渡島の生物はいつどこから来たのか?	第 68 回日本生態学会大会	岡山・オンライン	2021/03

20	堀田崇仁, 松倉君予, 松尾歩, 阿部晴恵	ユキツバキ落葉分解に関わる菌類相の遷移ー内生菌の関与と菌種間相互作用の検討ー	第 68 回日本生態学会大会	岡山・オンライン	2021/03
21	古郡憲洋, 本間航介	水田内に形成された内畔が水生生物群集に与える影響	第 68 回日本生態学会大会	岡山・オンライン	2021/03
22	飯樋玲海, 本間航介	X 線 CT 装置を用いたブナにおける潜伏芽と萌芽の関係性の解析	第 68 回日本生態学会大会	岡山・オンライン	2021/03
23	伊藤 翔, 長谷川雅美, 浅田稜二, 飯田碧, 阿部晴恵	佐渡島内におけるシマヘビの餌利用：ハゼ食に着目して	第 68 回日本生態学会大会	岡山・オンライン	2021/03
24	蒲澤優太, 本間航介	佐渡演習林の風衝地における植生分布	第 68 回日本生態学会大会	岡山・オンライン	2021/03
25	向野峻平, 阿部晴恵	佐渡島における哺乳類の分子系統解析_イタチと漂着イノシシの例	第 68 回日本生態学会大会	岡山・オンライン	2021/03
26	岸本圭子, 岸本年郎, 向井喜果, 関島恒夫	トキの餌としてのゴミムシを DNA バーコーディングで解明する	第 68 回日本生態学会大会	岡山・オンライン	2021/03
27	村上貴俊, 中野陽介, 阿部晴恵	クロサンショウウオ幼生の大顎化発現に関わる環境及び遺伝的要因	第 68 回日本生態学会大会	岡山・オンライン	2021/03
28	根本航輔, 松倉君予, 堀田崇仁, 本間航介	佐渡島北部の森林における季節・標高・植生に伴う大型菌類相の変異	第 68 回日本生態学会大会	岡山・オンライン	2021/03
29	H. Sakio, T. Nirei	Is the <i>Fraxinus platypoda</i> androdioecy?	第 68 回日本生態学会大会	岡山・オンライン	2021/03
30	渡部侑果, 長谷川雅美, 飯田 碧, 伊藤翔, 阿部晴恵	佐渡島における魚食を行うシマヘビの頭部形態及び採餌行動に関する研究	第 68 回日本生態学会大会	岡山・オンライン	2021/03
31	岡崎純子, 長谷川匡弘, 鳥山航平, 阪口奨, 阿部晴恵, 鈴木浩司	夜から昼へ利用する訪花昆虫のシフト：伊豆諸島におけるツリガネニンジン訪花昆虫 P2-074	第 68 回日本生態学会大会	岡山・オンライン	2021/03
32	澤田聖人, 阿部晴恵, 上條隆志	佐渡島における外来ヒキガエルとその競合種ウシガエルと捕食者ヤマカガシの分布	第 68 回日本生態学会大会	岡山・オンライン	2021/03
33	久保田美理, 崎尾 均	蘚苔類が佐渡島のスギ天然林の倒木更新に与える影響	第 132 回日本森林学会大会	東京・オンライン	2021/03
34	松浦隆介, 崎尾 均	沼ノ平地すべり地域における植生の多様性	第 132 回日本森林学会大会	東京・オンライン	2021/03

35	石井森昭, 蟹澤翔太, 山田宜永, 杉山稔惠, 谷口幸雄, 横井伯英, 金子良則, <u>永田尚志</u> , <u>祝前博明</u>	トキ国内飼育下個体群における繁殖形質の統計遺伝学的解析のための予備的 2 検討	日本畜産学会第 128 回大会	福岡・オンライン	2021/03
36	蟹澤翔太, 山田宜永, 谷口幸雄, 横井伯英, 勝田智博, <u>祝前博明</u>	黒毛和種直検牛の飼料利用性形質に関する血統情報および SNP 型情報を用いた遺伝分散の推定	日本畜産学会第 128 回大会	福岡・オンライン	2021/03
37	谷口幸雄, 横井伯英, 山田宜永, 金子良則, <u>祝前博明</u>	日本トキ集団の始祖 7 個体の MHC ハプロタイプの解析	日本畜産学会第 128 回大会	福岡・オンライン	2021/03
38	増田和俊, 瀬戸口浩彰, 長澤耕樹, 廣田峻, 陶山佳久, 沢 和浩, 福本繁, 石原正恵, <u>阿部晴恵</u> , 坪井勇人, 丹後亜興, 森小夜子, 阪口翔太	日本海側気候の変化が植物の集団動態に与えた影響: 多雪依存種チョウジギクを用いた検証	日本植物分類学会第 20 回大会	オンライン	2021/03
39	渡辺洋一, 南谷忠志, Sang-Hun Oh, 永野 惇, <u>阿部晴恵</u> , 遊川知久	西南日本・韓国南部から発見されたツツジ属コメツツジ類の新種とその新変種	日本植物分類学会第 20 回大会	オンライン	2021/03

【研究集会等の開催】

- ・ 漂着イノシシ掘り起こしワークショップ, 永井エヌ・エス助成金事業, 2020/10 (阿部晴恵ほか) (森)
- ・ 日本から発信する島嶼生物学 2—花と種子の島嶼生物学—. 自由集会 W01 第 68 回日本生態学会大会, 岡山・オンライン, 2021/3 (阿部晴恵ほか) (森)

3-2 研究費

課題名	実施期間	資金制度名	氏名（代表・分担）
科学研究費補助金		区分	
半月周産卵リズムの形成機構：潮汐を伝える体内時計と分子基盤の解明	2020-2023年度	基盤研究（B）	安東宏徳（代表） 大森紹仁（分担）
耕作放棄地の生態系機能を検証する－害虫抑制効果の解明－	2020-2023年度	基盤研究（C）	岸本圭子（代表）
河川水汚染医薬品の生物影響解明に向けた薬理学・生物学・環境学的アプローチの統合	2020-2022年度	基盤研究（A）	豊田賢治（分担）
七尾湾におけるトラフグの嗅覚による産卵場の選択に関する研究	2020-2022年度	基盤研究（C）	安東宏徳（分担）
なぜ淡水モクズガニを海水に入れても死なないのか？高次浸透圧調節ホルモンの探索	2020-2021年度	挑戦的研究（萌芽）	豊田賢治（分担）
系外資源流入と栄養カスケードが促進する島嶼生態系構成種の適応進化	2019-2021年度	基盤研究（B）	阿部晴恵（分担）
日本とアジア大陸間の相互移入に基づく植物多様性ホットスポットの形成プロセス	2019-2021年度	基盤研究（C）	阿部晴恵（代表）
現代社会に生きる哲学教育を構築するための理論的・実践的研究	2018-2020年度	基盤研究（B）	豊田光世（分担）
島に生息する魚類の分散能力の退化の検証	2018-2020年度	基盤研究（C）	飯田 碧（代表）
隠岐諸島に生育する氷河期遺存樹種の更新戦略と遺伝的多様性	2018-2020年度	基盤研究（C）	崎尾 均（分担）
魚群縦断探索システムを用いた農業水路軽生態配慮施設の戦略的整備手法の構築	2017-2020年度	基盤研究（B）	本間航介（分担） 満尾世志人（分担）
同位体から昆虫の機能形質を評価する	2017-2020年度	基盤研究（B）	岸本圭子（分担）
トキの個性の維持機構とその適応的意義	2017-2020年度	基盤研究（C）	永田尚志（代表）
環境の統合的ガバナンスの正当性をめぐる環境倫理学的分析	2017-2020年度	基盤研究（C）	豊田光世（代表）
日本列島における広域分布草本種の分布変遷過程と花形態分化の進化要因の解明	2017-2020年度	基盤研究（C）	阿部晴恵（分担）
その他公的競争的資金			
森・里・川・海連関の評価手法構築に向けた小型通し回遊魚の生態解明	2019-2021年度	独立行政法人環境再生保全機構 環境研究総合推進費 自然共生 領域・革新型研究開発	満尾世志人（代表） 飯田 碧（分担）
持続可能な農業と生物多様性保全に向けた佐渡島の取り組みについて学ぶ	2020年度	日本・アジア青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプラン）（中止）	阿部晴恵（代表）

課題名	実施期間	資金制度名	氏名（代表・分担）
日本海の海洋生態系および海洋生物多様性を学ぶためのフィールドワーク	2020 年度	日本・アジア青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプラン）（中止）	大森紹仁（代表）
生物多様性と農業技術革新が共存するエコロジカル・コミュニティの実装に向けて：里山創生「佐渡モデル」の構築	2020 年度	文部科学省「科学技術イノベーションによる地域社会課題解決（DESIGN-i）」助成事業	豊田光世（代表）
受託研究			
沼ノ平地域における植生調査	2017–2020 年度	只見町受託研究	崎尾 均（代表）
民間財団等の競争的資金			
佐渡島の河川に生息する希少な魚類の生態と生息環境の解明	2020–2021 年度	内田エネルギー科学振興財団試験研究費	飯田 碧（代表）
離島の河川における希少な魚類の生態：微小生息環境から保全策を探る	2020–2021 年度	クリタ水・環境科学振興財団国内研究費助成	飯田 碧（代表）
クロサンショウウオ幼生の大顎化発現に関わる環境及び遺伝的要因	2020 年度	R2 年度「自然首都・只見」学術調査研究助成金	阿部晴恵（代表） 村上貴俊（分担）
漂着イノシシ掘り起こしワークショップ	2020 年度	(一財)永井エヌ・エス知覚科学振興財団	阿部晴恵（代表）
屋久島におけるサツキの分布特性と生活史戦略	2020 年度	屋久島生物多様性保全研究活動奨励事業	崎尾 均（代表）
操作実験による絶滅危惧種サダガエルの越冬環境の解明	2019–2020 年度	公益信託 増進会自然環境保全研究活動助成基金	岸本圭子（代表）
学内の競争的資金			
国際共同研究「ツバキ属の種分化に関わる相互作用系」を通じた東アジアの包括的生物多様性保全の推進	2020–2021 年度	教員の中長期研修派遣実現支援制度（「女性研究者開花プラン」支援事業, JST ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ	阿部晴恵（代表）
寄付金その他外部資金			
p4c 教育の実践研究	2020 年度	公益財団法人上廣倫理財団・教育研究助成	豊田光世（代表）
環境省生物多様性モニタリング 1000 森林系コアサイト	2008–2020 年度 （継続）	一般財団法人自然環境研究センター	崎尾 均 （サイト代表）

課題名	実施期間	資金制度名	氏名（代表・分担）
環境省生物多様性モニタリング 1000 森林系コアサイト	2004–2020 年度 (継続)	一般財団法人 自然環境研究セ ンター	本間航介 (サイト代表)

4 教育活動

4-1 学内の教育

対象	講義名	開講時期	担当領域 (副担当)
学部			
全学部			
2 年生	生態系を知る	第 2 ターム	里
全学年	朱鷺・自然再生フィールドワーク	休講	里
	環境学実習（副専攻）	実習中止	森・里
	森・里・海フィールド実習	休講	森・里・海
	朱鷺をシンボルとした自然再生	第 3 ターム	森・里
理・農学部フィールド科学人材育成プログラム 3 年生			
	里地里山再生学	第 1 ターム	森・里
	環境政策論	第 1 ターム	森
	系統分類学	6/18–19	海
	自然再生学実習	8/24–27	里
	海洋フィールド生物学実習	8/24–29	海・(森)
	野生動植物生態学実習	9/12–13	森
	フィールドワーカーのためのリスクマネジメント実習 (1)	9/14–17	森
	フィールドワーカーのためのリスクマネジメント実習 (2)	9/17–20	森
	フィールド安全論	第 3 ターム	森・海
	希少生物保全学	第 3 ターム	森・里
	水圏生態学	第 4 ターム	海
	野生植物生態学	第 4 ターム	森
理学部			
理学科 2 年生	系統動物学	7/4, 5, 11	海
理学科 2 年生	臨海実習 I	8/24–29	海・(森)
理学科 2 年生	海洋生物学実験	8/30–9/1	海
理学科 2 年生	環境生物学野外実習 B	9/2–6	海
理学科生物学 プログラム 3 年生	動物生理学 III	第 4 ターム	海
農学部			
農学科 1 年生	農学入門	第 1 ターム	海
農学科 1 年生	新潟の農林業	第 3 ターム	森
農学科 2 年生	基礎農林学実習	リモート実施	森
2, 3 年生	動物遺伝学	12/4–25, 1/22–29	里
2, 3 年生	樹木学	第 3 ターム	森
3 年生	育林系演習及び実習 (1)	8/31–9/2	森
3 年生	育林系演習及び実習 (2)	9/2–9/4	森
3 年生	動物遺伝増殖学	10/26–11/16	里
3 年生	生態系管理演習及び実習	12/12–13	森・里
3 年生	森林再生学	第 3 ターム	森
3 年生	環境モデリング入門	第 4 ターム	里

大学院			
自然科学研究科			
修士課程	樹木生態学特論	通年	森
修士課程	島嶼生態学特論	通年	森
修士課程	流域環境思想論	9/14-9/18	里
修士課程	希少生物学特論	通年	里
修士課程	神経内分泌学	第2学期	海
修士課程	自然再生学特論	第2学期	里
修士課程	野生植物生態学特論	12/25	森
博士課程	森林生態系管理学Ⅱ	通年	森
博士課程	水圏生物環境学特論	第2学期	海
博士課程	保全生物学特論Ⅱ	2/4-2/9	里
博士課程	環境科学特別講義	休講	里

4-2 佐渡3施設で実施した他大学の教育

対象	講義名	開講時期	担当領域
日本環境専門学校	植物生態野外実習	10/22-25	森
東邦大学理学部	野生生物保護管理実習	11/9	森
山形大学, ハノーバー大学, Universidad Nacional Agraria La Molina, リエイダ大学, トリノ大 学, Pontificia Universidad Catolica del Peru	International Winter School Natural Environments in Northeastern, Chubu Regions and Hokkaido, Japan	2/25, 3/2	森

4-3 3施設で実施したその他の教育

対象	講義名	開講時期	担当領域／ 実施者
佐渡市民	公開林間実習 2020	10/3-4	森

4-4 施設利用状況

演習林	他大学		学内		一般・小中高生	計
	実習	実習以外	実習	実習以外 所属学生含む	実習・研修等 エコツアー除く	
利用人数 (延べ)	61	12	587	597	88	1,345

朱鷺・自然再生学研究施設 (キセン城)	実習活動	研究活動	その他
	延べ28名	延べ24日	延べ156日

臨海実験所	他大学			学内		一般 小中学校	計
	フィールド 利用型 実習	公開臨 海実習	実習以外	実習	実習以外 所属学生含む	実習・研修 等	
利用人数 (延べ)	0	0	2	267	1,842	95	2,206

5 地域連携と社会活動

5-1 佐渡市との連携による事業

- 1) 佐渡市レッドリスト及びレッドデータブック作成事業（森・里・海）
- 2) 人材育成事業「朱鷺の島地域再生人材創出事業」（里）
- 3) 研究プロジェクト「生物多様性と農業技術革新が共存するエコロジカル・コミュニティの実装に向けて：里山創生「佐渡モデル」の構築」（文部科学省「科学技術イノベーションによる地域社会課題解決（DESIGN-i）」助成事業）（里・CD）

5-2 新潟県との連携による事業

- 1) 循環型エコアイランド環境学習事業（里）
- 2) 天王川自然再生事業モニタリング調査（森・里）

5-3 その他の地域連携・社会活動

内容		実施日	会場	担当領域／実施者
小中高校の教育支援				
佐渡市立相川中学校	p4c を用いた道徳授業	4/9	相川中学校	豊田光世
佐渡市立加茂小学校	探究の対話（p4c）	4/16	加茂小学校	豊田光世
佐渡市立相川中学校	p4c を用いた道徳授業	4/30	相川中学校	豊田光世
佐渡市立相川中学校	p4c を用いた道徳授業	5/19	相川中学校	豊田光世
佐渡市立赤泊小学校	環境学習会	6/2	赤泊小学校	満尾世志人
佐渡市立金泉小学校	「わたしたちのまちと市」	6/6	臨海実験所	海
佐渡市立金井小学校	環境学習会	6/12	金井小学校	満尾世志人
佐渡市立小木小学校	環境学習会	6/25	河崎小学校	満尾世志人
佐渡市立両津吉井小学校	加茂湖の環境学習②	6/30	加茂湖	豊田光世
佐渡市立金泉小学校	「生き物のくらしと環境」	7/21	臨海実験所	海
新潟県立新発田高等学校自然科学部	ミジンコ研究の指導助言	8/1	臨海実験所	豊田賢治
佐渡市民	生き物見学	8/12, 13, 14, 21	臨海実験所	海
新潟ジュニアドクター育成塾	トキの野生復帰に必要な佐渡島の里山	8/30	オンライン	永田尚志
佐渡市立金泉小学校	体験学習	9/8	臨海実験所	海
佐渡市立両津中学校	課題解決型職場体験「加茂湖の環境保全」	10/1	加茂湖漁業協同組合	豊田光世
佐渡市立新穂中学校	新穂探訪：里山農業の未来デザイン	10/14	トキ交流会館	豊田光世
佐渡市民	佐渡沿岸の海産動物調べ	10/17, 31, 11/21, 28	臨海実験所	海
佐渡中等教育学校	環境学習会	10/26	演習林	本間航介
新潟県立佐渡総合高等学校	探究的な学びとは	11/20	佐渡総合高等学校	豊田光世

内容		実施日	会場	担当領域／ 実施者
佐渡保育専門学校	科目「あそぶ・まなぶ・さど」佐渡の森林について	11/24	佐渡保育専門学校	崎尾 均
佐渡中等教育学校	環境学習会	12/2	佐渡中等教育学校	本間航介
里山農業の未来デザイン・ユースワークショップ	里山農業の未来を創れ！	2/20, 2/21, 2/23, 2/28 3/7 3/21	オンライン	豊田光世 北 愛子
佐渡市立内海府小学校	ワカメの標本を作ろう	3/11	内海府小学校	飯田 碧 下谷豊和
学校教員向け研修				
佐渡市立内海府小・中学校	p4c 校内研修	5/11	内海府小学校	豊田光世
佐渡市立佐和田中学校	p4c 校内研修	7/15	佐和田中学校	豊田光世
佐渡市立相川中学校	p4c 校内研修	9/14	相川中学校	豊田光世
姫路市 p4c 自主研究会	みんなで話そう！ p4c ひめじ	10/9	姫路市総合教育センター	豊田光世
佐渡市立相川中学校	p4c 校内研修	10/22	相川中学校	豊田光世
佐渡市立理科教育センター	トキの生態研修会	11/4	トキのテラス	永田尚志
佐渡市中学校教育研究会・特別活動部研修会	特別活動における p4c の活用	11/9	南佐渡中学校	豊田光世
魚沼市立魚沼北中学校・道徳部会講演会	特別の教科道徳に p4c を生かす	11/12	魚沼北中学校	豊田光世
佐渡市立理科教育センター	トキの生態研修会	11/14	トキの森公園	永田尚志
宮城教育大学	2020 年度「探究の対話 (p4c) 研究会」	12/12	オンライン	豊田光世
福島県浪江町立なみえ創生中学校	哲学対話の手法に関する職員研修	2/1	オンライン	豊田光世
市民向けセミナー・フォーラム等				
トキの里探検隊	キセン城のビオトープ造成活動	6/27 7/4 7/12 8/1	キセン城	岸本圭子 綿引大祐
新潟大学旭町学術資料展示館企画	『微化石展』スタンプラリー協力	8/1-9/6	臨海実験所	海
SADO p4c butterflies	佐渡 p4c おけさ 2020	8/8-8/9	オンライン	豊田光世
佐渡市立理科教育センター	同定会	8/16	サンテラ佐渡スーパーアリーナ	綿引大祐
佐渡市環境対策課	こども環境学習会	8/20	臨海実験所	海
トキの里探検隊	夜の昆虫採集	8/26	旭の田んぼ	綿引大祐
佐渡市理科教育センター	子どものための科学祭り	9/13	金井コミュニティセンター	海
しまびと元気応援団「自然観察 花とのふれあい」	加茂湖の自然再生	1/8	金井コミュニティセンター	豊田光世
佐渡市第7回市民大学講座	身近な昆虫からみる生物多様性	1/14	金井コミュニティセンター	綿引大祐

内容		実施日	会場	担当領域／ 実施者
佐渡の生物はいつどこから来たか	佐渡市民環境アドバイザー講座（ジオパーク研修会）	1/24	畑野農村環境改善センター	阿部晴恵
東京女子大学学会コミュニティ構想専攻部会講演会	自然環境保全と地域活性化	2/15	オンライン	豊田光世
認定NPO法人つながりデザインセンター・今野不動産株式会社「荒浜記憶の継承みらい会議」	荒浜クロストーク	3/14	海岸公園センターハウス オンライン	豊田光世
一般財団法人地域活性化センター	海士町オンラインゼミ・キックオフセミナー	3/16	オンライン	豊田光世
一般社団法人播磨ひとづくりコンソーシアム「p4cの広場」	はじめての p4c	3/28	オンライン	豊田光世
令和2年度 佐渡市市民環境講座				
冬の環境と森林-暖冬化・少雪化は佐渡の森林に何をもたらすか-		10/27	金井コミュニティセンター	本間航介
佐渡島の生物はどこから来たか		11/1	あいぼーと佐渡	阿部晴恵
テントウムシの斑紋から見た地球温暖化と小進化		11/19	金井コミュニティセンター	祝前博明
佐渡の海の無脊椎動物たち		1/29	金井コミュニティセンター	大森紹仁
佐渡島から環境共生社会を考える：グローバルミッションとローカルアクション		2/18	金井コミュニティセンター	豊田光世

5-4 シンポジウム・セミナー等の開催

名称	開催日	会場
里山体験ガイドフォローアップ（1）幼児向けネイチャーゲーム 講師：平澤聡・新潟県シェアリングネイチャー協会	8/23	トキの森公園
里山体験ガイドフォローアップ（2）外来生物の利活用 講師：井上信夫・生物多様性保全ネットワーク新潟	10/3	トキ交流会館
里山体験ガイドフォローアップ（3）自然再生とモニタリング 講師：岸本圭子	10/10	キセン城
森林領域佐渡ゼミ		演習林
第41回「漂着イノシシ掘りワークショップ・標本作製」 講師：西澤真樹子（大阪自然史センター）	10/31	
第42回「佐渡島の生物はどこから来たのか」・「ホネの魅力」 講師：阿部晴恵・西澤真樹子（大阪自然史センター）	11/1	
セミナー「佐渡島の環境保全の現場から自然共生の価値を考える」	11/21	トキ交流会館
子どものための哲学教育オンラインセミナー：世界の取り組みから学ぶ	2/26	オンライン
新潟大学佐渡自然共生科学センター学生発表会	3/3	トキ交流会館・オンライン
佐渡自然共生科学センターシンポジウム 2021 環境変動と生物集団	3/7	あいぼーと佐渡・オンライン
里山農業の未来デザインシンポジウム 2021	3/21	あいぼーと佐渡・オンライン

6 資料

6-1 報道関係

- 1) 新潟日報「新たな発想で農業振興」，2020/4/2（CD）
- 2) NHK 総合「ダーウィンが来た！「あの縄文杉を越えるか？伝説の超巨大杉を探せ」 2020/5/17（崎尾 均）（森）
- 3) 新潟日報，「ウミホタル まるで星空 豊田 観賞ツアー始まる」，2020/6/26 取材協力（飯田 碧）（海）
- 4) 新潟日報「豊かな海画面通じ体験，内海府・内浦で「ツアー」」，2020/7/7（CD）
- 5) NHK さわやか自然百景，「伊豆半島 川奈の海」，2020/8/2, 7, 8 取材協力（安東宏徳）（海）
- 6) 新潟日報「固有種サドガエル守れ：千種沖整備予定地で生き物調査」，2020/8/12（里）
- 7) 新潟日報「心を育む対話 哲学切り口に」，2020/8/18（CD）
- 8) 新潟日報「サドガエル発見されず：千種沖ほ場整備地で追加調査」，2020/9/8（里）
- 9) 新潟日報「トキの聖地は今：飛来願い林を手入れ」，2020/9/9（森）
- 10) 新潟日報「トキの聖地は今：キセン城生物育む里山復元へ」，2020/9/10（里）
- 11) 新潟日報「南西諸島に生息 アカギカメムシ 島内で発見 県内初確認か」，2020/9/12（綿引大祐）（里）
- 12) 週刊教育資料「自著を語る『p4c の授業デザイン：共に考える探究と対話の時間のつくり方』」，2020/9/21（豊田光世）（里）
- 13) NHK BS プレミアム「屋久島 伝説の超巨大杉 完全版」，2020/9/26（崎尾 均）（森）
- 14) 新潟日報「害虫対策植生かそう：歌見棚田でワークショップ」，2020/10/1（CD）
- 15) 新潟日報「心通うリモート交流：棚田の稲刈り新米を楽しむ」，2020/10/8（CD）
- 16) NHK 総合「日本人のおなまえっ！ じわる名字 岡柳」，2020/10/22（崎尾 均）（森）
- 17) NHK ワイルドライフ「伊豆半島 フグが押し寄せウツボが襲う」，2020/10/26 取材協力（安東宏徳）（海）
- 18) 新潟日報「環境問題 理解深めて：市民向けの連続講座」，2020/11/27（森）
- 19) 記者会見，「富士山の森林は登り続ける！—温暖化が原因か？—」，2020/12/2（崎尾 均）（森）
- 20) BSN，ゆうなび（夕方）「富士山の森林限界上昇中」，2020/12/2（崎尾 均）（森）
- 21) NIKEI「富士山の森林限界は温暖化で上昇，新大・崎尾均教授の40年間の現地調査で判明」，2020/12/2（崎尾 均）（森）
- 22) 朝日新聞（新潟）「富士山の森林限界40年間で上昇」，2020/12/4（崎尾 均）（森）
- 23) 新潟日報「富士山の森林限界上昇」，2020/12/6（崎尾 均）（森）
- 24) 朝日新聞「富士山の森林40年で上昇」，2020/12/7（崎尾 均）（森）
- 25) NHK BS プレミアム「巨樹百景 神様の木に会う」，2021/1/1（本間航介）（森）
- 26) NHK 総合，甲府放送「富士山の森林限界が上昇」，2020/2/1（崎尾 均）（森）
- 27) 新潟日報「島の森生かす知識深め：林業実践者大学17人修了」，2021/2/25（里）
- 28) NHK ラジオ第1「石丸謙二郎の山カフェ マスターの気になる山のアレ 富士山の森林限界の標高が上昇している！」，2021/2/27（崎尾 均）（森）
- 29) 新潟日報「里山の未来 中高生が知恵，農家とワークショップ耕作放棄地活用考える」，2021/3/3（CD）
- 30) 新潟日報「環境の変化生物に影響：新大センターがシンポ」，2021/3/13（センター）
- 31) 新潟日報「さよならキャンパス 水辺林の修復，再生に力」，2021/3/28（崎尾 均）（森）

6-2 構成員

センター長/副センター長

崎尾 均・センター長 博士（理学）（3月31日定年退職）

専門分野：森林生態学，水辺林の生態と保全，樹木の生活史

研究テーマ：水辺の樹木の生活史戦略

所属学会：日本生態学会，日本森林学会，日本植物学会，植生学会，種生物学会，森林立地学会，屋久島学ソサイエティ，IAVS

外部委員：只見町ユネスコエコパーク支援委員会委員長，只見町ブナセンター紀要編集委員，只見町沼ノ平総合学術調査団調査団長，佐渡ジオパーク推進協議会委員，日本MAB計画委員会委員，樹木医学研究編集委員会常任委員

箕口秀夫・副センター長 学術博士

副学長・農学部教授

専門分野：森林科学，保全生態学

研究テーマ：野生生物と共存が可能な森林管理技術の検討，開発

所属学会：日本森林学会，日本生態学会，日本哺乳類学会

外部委員：JABEE 分野別（森林分野）審査委員会（日本技術者教育認定機構），新潟県版 J-クレジット制度認証委員会，新潟県環境影響評価審査会委員，新潟県野生鳥獣保護管理対策検討会，新潟県指定管理鳥獣捕獲等検討会，朝日飯豊山系カモシカ特別調査指導委員会，北アルプスカモシカ特別調査指導委員会，中野市十三崖のチョウゲンボウ繁殖地保全整備事業検討委員，佐渡市レッドリスト作成委員

森林領域／演習林

崎尾 均・森林領域長・教授 博士（理学）

本間航介・准教授 博士（理学）

専門分野：森林生態学，里山生態学，保全生態学

研究テーマ：高ストレス・高攪乱環境下における木本植物の更新戦略，里山複合景観が有する生態機能の定量的解明

所属学会：日本生態学会，種生物学会，日本植生史学会

外部委員：環境省生物多様性モニタリング 1000 森林系コアサイト検討委員，環境省生物多様性モニタリング 1000 森林系一般サイト検討委員，環境省・佐渡市 人・トキ共生の島づくり協議会副会長，新潟県トキ野生復帰アドバイザー，佐渡市環境アドバイザー，JaLTER（日本長期生態研究ネットワーク）佐渡サイト代表，佐渡市レッドリスト作成委員

阿部晴恵・准教授 博士（理学）

専門分野：島嶼生態学，保全遺伝学，進化学

研究テーマ：島嶼における生物の進化，ツバキ属の種分化，生物間相互作用

所属学会：日本生態学会

外部委員：日本生態学会自然保護委員会，環境省モニタリングサイト 1000 里地調査 中・大型哺乳類写真同定ワーキンググループ

外部講師：佐渡市環境アドバイザー，佐渡市レッドリスト作成委員

松倉君予・特任助教 博士（農学）（3 月 31 日転出）

専門分野：菌類生態学，森林生態学

研究テーマ：ヤブツバキ及びユキツバキの葉内生菌と落葉分解菌の生態，ツバキ属菌核病菌ツバキキンカクチャワシタケの生態

所属学会：日本生態学会，日本菌学会，日本森林学会

外部講師：佐渡市環境アドバイザー

谷口憲男・技術専門職員

濱田栄一・技術職員

柳屋喜和・技術補佐員

平越高弘・技術補佐員

本間大也・技術補佐員

石塚しのぶ・事務補佐員

川嶋一二三・事務補佐員

古郡憲洋・自然科学研究科博士後期課程 2 年

研究テーマ：里山の景観推移帯が持つ生態学的機能に関する研究

伊藤 翔・自然科学研究科博士前期課程 2 年

研究テーマ：佐渡島におけるシマヘビのハゼ食に関する研究

松浦隆介・自然科学研究科博士前期課程 2 年

研究テーマ：沼ノ平地すべり地域における植生の多様性

蒲澤優太・農学部 4 年

研究テーマ：佐渡演習林の風衝地における植生分布

久保田美理・農学部 4 年

研究テーマ：蘚苔類が佐渡島のスギ天然林での倒木更新に与える影響

根本航輔・農学部 4 年

研究テーマ：佐渡島内の多様な森林環境における子実体に基づく菌類相調査

堀田崇仁・農学部 4 年

研究テーマ：ユキツバキの落葉分解に関わる菌類相の遷移—内生菌の関与と落葉後の菌種間相互作用の検討—

向野峻平・農学部 4 年

研究テーマ：佐渡島における漂着イノシシの遺伝解析

村上貴俊・農学部 4 年

研究テーマ：サンショウウオの大顎化に関わる環境及び遺伝的要因

飯樋玲海・理学部 4 年

研究テーマ：ブナにおける萌芽と潜伏芽の関係

渡部侑果・理学部 4 年

研究テーマ：佐渡島における魚食を行うシマヘビの頭部形態及び採餌行動に関する研究

里山領域／朱鷺・自然再生学研究施設

永田尚志・教授・領域長 理学博士

専門分野：鳥類生態学，保全生物学

研究テーマ：トキの再導入生物学に関する研究，鳥類の繁殖戦略

所属学会：日本生態学会，日本動物行動学会（Journal of Ethology 編集委員会副編集長），個体群生態学会，日本鳥学会（評議員），鳥類標識協会，American Ornithological Society，Wilson Ornithological Society，Waterbird Society，Association of Field Ornithologists，International Ornithologist Union

外部委員：河川学術研究会委員，河川水辺の国勢調査鳥類スクリーニング委員会委員（以上，国交省関係），トキ野生復帰検討会委員，モニタリングサイト 1000（森林・草原調査）コア・準コアサイト検討会委員，モニタリングサイト 1000 森林・草原調査解析ワーキンググループ委員，モニタリングサイト 1000 陸生鳥類検討会委員，鳥類標識調査検討会委員，ヤンバルクイナ保護増殖事業ワーキンググループ委員（以上，環境省関係），印旛沼水質改善技術検討会水草再生ワーキング委員（千葉県），佐渡市環境審議会委員，人・トキの共生の島づくり協議会委員，佐渡市環境アドバイザー，佐渡市レッドリスト作成委員（以上，佐渡市関係），IUCN SIS the International Glossy Ibis Network (IGIN)委員

満尾世志人・准教授 博士（農学）

専門分野：水域生態学，群集生態学，農業環境工学

研究テーマ：水田水域における魚類群集の形成機構及び自然再生，通し回遊魚の回遊生態

所属学会：日本生態学会，「野生生物と社会」学会，応用生態工学会，日本陸水学会，日本魚類学会

外部委員：佐渡市環境アドバイザー，佐渡市レッドリスト作成委員

岸本圭子・准教授 博士（人間・環境学）

専門分野：群集生態学，昆虫学

研究テーマ：昆虫の種間相互作用，生物多様性，群集動態に関する研究

所属学会：日本生態学会，日本昆虫学会，土壤動物学会，Association for Tropical Biology and Conservation

外部委員：文部科学省科学技術予測センター専門調査員，新潟県環境影響評価審査会委員，新潟県洋上風力発電導入研究会環境影響専門部会委員，新潟県道路管理における除草剤活用検討会議委員，新潟県地域振興局・圃場整備新貝地区「環境配慮検討委員会」委員，佐渡市環境アドバイザー，トキの水辺づくり協議会アドバイザー，国仲バイパス道路事業におけるサドガエル保全対策アドバイザー，佐渡市レッドリスト作成委員

豊田光世・准教授 博士（学術）

専門分野：環境哲学，合意形成学，環境教育，対話教育

研究テーマ：環境共生社会の実現に向けた市民参画プロセスのデザイン

所属学会：日本環境教育学会，日本感性工学会，「野生生物と社会」学会，The International Council of Philosophical Inquiry with Children

外部委員：日本学術会議連携会員（環境学委員会環境思想・環境教育分科会委員，統合生物学委員会・環境学委員会合同自然環境保全再生分科会委員，哲学委員会いのちと心を考える分科会委員），新潟県環境審議会委員，佐渡市世界農業遺産推進会議委員，佐渡市生物多様性佐渡戦略推進委員会社会系ワーキングチーム委員，佐渡市環境アドバイザー，人・トキ共生の島づくり協議会委員，佐渡市立行谷小学校学校関係者評価委員，宮城教育大学上廣倫理教育アカデミー諮問委員，佐渡中等教育学校のあり方検討会委員，佐渡教育コンソーシアム検討委員，令和2年度水産多面的機能発揮対策支援委託事業検討委員会委員

外部講師：東京工業大学リベラルアーツ研究教育院非常勤講師，兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科非常勤講師，東京海洋大学客員准教授

綿引大祐・特任助教 博士（農学）

専門分野：昆虫分類学，植物保護科学

研究テーマ：蛾類の分類学的研究とその成果を応用した害虫化メカニズムの解明

所属学会：日本昆虫学会，日本応用動物昆虫学会，日本鱗翅学会，日本蛾類学会

祝前博明・特任教授 Ph.D.（3月31日転出）

専門分野：量的遺伝学，遺伝統計学，動物育種学等

研究テーマ：トキ集団の遺伝的多様性に関する研究等

所属学会：日本動物遺伝育種学会（理事（～2020/11）），日本畜産学会

外部委員：トキ野生復帰検討会（環境省関係），日本畜産学アカデミー会員，中央審査委員会・育種推進委員会・産肉能力検定委員会（全国和牛登録協会関係），牛ゲノム選抜手法検討委員会（畜産技術協会関係），畜産生産能力・体制強化推進事業検討委員会（肉用牛改良情報活用協議会関係），佐渡市環境アドバイザー

外部講師：石川県立大学生物資源環境学部非常勤講師

長嶋直幸・特任助手

山本 直・特任助手

倉橋玄宜・技術補佐員

石川ひなみ・理学部4年

研究テーマ：耕作放棄地の影響評価～クモ類群集の構造特性の解明を通じて

割田浩生・農学部 4 年

研究テーマ：アオバズク *Ninox scutulata japonica* のハビタット選択モデルの開発

加藤 駿・農学部 4 年

研究テーマ：アユの河川遡上範囲とその関連要因について

佐藤 青・理学部 4 年

研究テーマ：スミウキゴリの河川加入後における分布様式

海洋領域／臨海実験所

安東宏徳・教授・領域長 理学博士

専門分野：生殖内分泌学，神経内分泌学

研究テーマ：産卵回遊魚の海洋環境適応の脳内メカニズム

所属学会：日本動物学会，日本比較内分泌学会（幹事，出版委員会），日本下垂体研究会（評議委員），日本水産学会，The Asia and Oceania Society for Comparative, Endocrinology (AOSCE) (Councilmember)

外部委員：新潟県原子力発電所周辺環境監視評価会議委員，佐渡海区漁業調整委員会委員，佐渡ジオパーク推進協議会調査・研究部会部員，金沢大学環日本海域環境研究センター教育関係共同利用拠点運営委員会委員，金沢大学環日本海域環境研究センター共同利用・共同研究拠点運営委員会委員，佐渡市環境アドバイザー

学術雑誌編集委員：Neuroendocrinology (Associate Editor), Fish Physiology and Biochemistry (Editorial Board), Frontiers in Experimental Endocrinology (Editorial Board)

飯田 碧・准教授 博士（農学）

専門分野：魚類生態学，水圏生物学

研究テーマ：魚類の通し回遊についての生態学的研究

所属学会：日本水産学会，日本魚類学会，日本生態学会，日本動物学会

外部委員：新潟県環境影響評価審査会委員，新潟県洋上風力発電導入研究会環境影響専門部会委員，信濃川水系流域委員会 下流部会委員，佐渡市レッドリスト作成委員，佐渡市環境アドバイザー

学術雑誌編集委員：Ecological Research (Editorial Board)

大森紹仁・助教 博士（理学）

専門分野：進化発生学，系統分類学

研究テーマ：棘皮動物の体軸進化と自然史に関する研究

所属学会：日本動物学会，日本発生生物学会

外部委員：佐渡市レッドリスト作成委員，佐渡市環境アドバイザー

豊田賢治・特任助教 博士（理学）（6 月 22 日着任）

専門分野：環境生理学，発生内分泌学

研究テーマ：甲殻類の性差構築と幼生変態の分子メカニズム

所属学会：日本動物学会，日本比較内分泌学会（学会誌編集委員，若手交流企画委員会）

外部講師：東京理科大学基礎工学部 外部講師

下谷豊和・技術専門職員

小杉かおる・技能補佐員

本間精一・技能補佐員

Zahangir Md. Mahiuddin・自然科学研究科博士課程 3 年

研究テーマ：Studies on the role and regulation of kisspeptin and gonadotropin-inhibitory hormone system in the reproduction of grass and tiger puffers: Implication of melatonin in semilunar spawning rhythm

浅田稜二・自然科学研究科修士課程 2 年

研究テーマ：河川におけるウキゴリ属魚類の微小生息環境利用

夏川高輔・自然科学研究科修士課程 1 年

研究テーマ：佐渡島の河川における通し回遊魚カンキョウカジカの流程分布とその季節変化

梅田 樹・理学部 4 年

研究テーマ：佐渡島沿岸におけるサドナデシコナマコの分布および棲息環境の解明

島田健太郎・理学部 4 年

研究テーマ：佐渡島の河川におけるハゼ科ウキゴリ属魚類の食性

コミュニティデザイン室

豊田光世・准教授・室長 博士（学術）

里山領域と兼任

綿引大祐・特任助教 博士（農学）

里山領域と兼任

北 愛子・特任助手

「里山農業の未来デザインプロジェクト」担当

センター事務室

鈴木 忍・事務室長

高橋美由紀・事務補佐員

日比谷広美・事務補佐員

新潟大学 佐渡自然共生科学センター 2020（令和2）年度年次報告書

発行日：2021年7月30日

編集：佐渡自然共生科学センター 広報委員会（本間航介，飯田 碧，豊田光世），北 愛子

発行：新潟大学 佐渡自然共生科学センター

<https://www.sices.niigata-u.ac.jp>
